



被災地における公共インフラ復旧見通し等の更新について

被災地における公共インフラの復旧見通し等について、「見える化」により関係者間で共有を図るため、「復興施策に関する事業計画及び工程表」(福島県の避難指示解除準備区域等を除く)及び「避難指示解除準備区域等における公共インフラ復旧の工程表」について、各府省のご協力の下、平成 27 年度末時点で更新しましたのでお知らせします。

「復興施策に関する事業計画及び工程表」については、事業全体としては概ね目標を達成しております。

「避難指示解除準備区域等における公共インフラ復旧の工程表」については、平成 27 年度に計画していた事業は着実に進捗し、帰還困難区域や津波被災区域を除き、道路、上・下水道など基礎的なインフラの復旧は、平成 28 年度末までに概ね復旧する見通しとなっています。

詳細については別紙及び復興庁、関係省庁、関係自治体のホームページをご参照下さい。今後とも節目節目で見直しを行うとともに、関係機関と連携して必要な支援を行い、一日も早い地域の復旧・復興に努めて参ります。

(参考)

「復興施策に関する事業計画及び工程表」

: 「東日本大震災からの復興の基本方針」(平成 23 年 7 月 29 日 東日本大震災復興対策本部決定)に基づき、関係省庁において、避難指示解除準備区域等を除く地域を対象に、当面 3 ヶ年の公共インフラの復旧見通し及び公共インフラ以外の復興施策をとりまとめているもの。

「避難指示解除準備区域等における公共インフラ復旧の工程表」

: 避難指示解除準備区域等の市町村*を対象に、「福島復興再生基本方針」(平成 24 年 7 月 13 日閣議決定)を踏まえ、各施設管理者において、当面 3 ヶ年の公共インフラの復旧見通しをとりまとめているもの。

〔 *対象市町村：田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、浪江町、葛尾村、飯舘村、大熊町、双葉町 〕

【連絡先】

復興庁 インフラ構築班

電話：03-6328-0233

(復興施策に関する事業計画及び工程表) 長太、佃、田窪

(避難指示解除準備区域等における公共インフラ復旧の工程表)

田中、秋島、岩見、永谷

「復興施策に関する事業計画及び工程表」のポイント(別紙1参照)

- 平成 27 年度末の成果目標を設定していた 13 事業のうち、9事業は、目標を達成又は概ね達成し、4事業は、平成 28 年度以降に目標達成がずれ込むこととなりました。

平成 27 年度成果目標を達成又は概ね達成した事業

:下水道対策、海岸防災林の再生、河川対策(直轄管理区間)、交通網(港湾)、農地・農業用施設、漁港・漁場・養殖施設・定置網(定置網)、復興まちづくり(津波復興拠点整備事業)、復興まちづくり(学校施設等)、災害廃棄物の処理

平成 28 年度以降に目標達成がずれ込む事業

:海岸対策、河川対策(県・市町村管理区間)、交通網(道路)(復旧(県・市町村管理区間)、復興まちづくり(造成宅地の滑動崩落防止))

- 平成 28 年度以降に目標達成がずれ込む主な理由は、復興まちづくり計画や他事業との調整、地域における合意形成等により時間を要したことです。
- なお、交通網(空港)、復興まちづくり(医療施設等)の2事業については、すでに完了しています。

「避難指示解除準備区域等における公共インフラ復旧の工程表」のポイント

(別紙2参照)

- 避難指示解除準備区域等の 12 市町村のインフラ復旧・整備の概況は次の通りです。

- ① 平成 26 年度までに、常磐自動車道全線の通行や市町村内の道路(津波被災区域等を除く)の通行が可能となっているところです。
- ② 平成 27 年度は、葛尾村の上水道の復旧が完了し、富岡町の上・下水道や浪江町の上・下水道で完了工区が拡大するなど、12 市町村の公共インフラの復旧は、着実に進捗しています。
- ③ 広域インフラについても、大柿ダム(浪江町)の堤体復旧工事が完了。北部衛生センター(浪江町)の復旧が完了。また、7 月には JR 常磐線の原ノ町～小高間が運転再開したところです。

- 道路、上・下水道など基礎的なインフラの復旧については、帰還困難区域や津波被災区域を除き、平成 28 年度末までに概ね復旧する見通しとなっています。

※詳細については、以下のサイトよりご確認ください。

<http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-3/index.html>

- ・数値目標を設定した13事業のうち、9事業は「平成27年度の目標達成」もしくは「概ね平成27年度の目標達成」、4事業については「平成28年度以降に目標達成がずれ込む」となった。
- ・「平成28年度以降に目標達成がずれ込む」主な理由は、復興まちづくり計画や他事業との調整、地域における合意形成等により時間を要したため。
- ・別途、四半期に一度実施している「公共インフラの復旧・復興の進捗状況」の確認と合わせ、また、「住宅再建・復興まちづくりの加速化に向けた施策パッケージ」等の周知・活用等により、復興事業の円滑な実施を推進する。

1. 「平成27年度の目標達成」又は「概ね平成27年度の目標達成」となった事業

事業名	平成27年度成果目標(数値目標)に対する進捗分析	事業名	平成27年度成果目標(数値目標)に対する進捗分析
下水道対策	【処理場】平成27年度の目標達成 (目標仙台市南蒲生浄化センターの工事完了に対し、平成27年度で工事が完了した 【管渠等の整備】概ね平成27年度の目標達成	農地・農業用施設	概ね平成27年度の目標達成
		漁港・漁場・養殖施設・定置網(定置網)	概ね平成27年度の目標達成
海岸防災林の再生	平成27年度の目標達成 (目標約40kmについて完了に対し、約41kmで完了)	復興まちづくり (津波復興拠点整備事業)	概ね平成27年度の目標達成
河川対策 (直轄管理区間)	概ね平成27年度の目標達成	復興まちづくり (学校施設等)	概ね平成27年度の目標達成
交通網(港湾)	概ね平成27年度の目標達成	災害廃棄物の処理	概ね平成27年度の目標達成

2. 「平成28年度以降に目標達成がずれ込む」こととなった事業

事業名	平成27年度成果目標(数値目標)に対する進捗分析	事業名	平成27年度成果目標(数値目標)に対する進捗分析
海岸対策	目標:約9割の地区海岸で着工、約5割の地区海岸で完了 成果:約8割の地区海岸で着工、約2割の地区海岸で完了	交通網(道路) (復旧(県・市町村管理区間))	目標:5,924路線で着手、5,845路線で完了 成果:5,918路線で着手、5,758路線で完了
河川対策 (県・市町村管理区間)	目標:1,068箇所で着手、995箇所ですべて完了 成果:1,046箇所ですべて着手、958箇所ですべて完了	復興まちづくり(造成宅地の滑動崩落防止)	目標:全て地区で工事完了 成果:98%の地区で工事完了

※ 交通網(空港)、復興まちづくり(医療施設等)については既に事業が完了している。

※ 上記以外の事業については、平成27年度成果目標において数値目標を設定していない。

(ただし、災害公営住宅、復興まちづくり(民間住宅等用宅地の供給)については、別途、「住まいの復興工程表」により、個別地区ごとに詳細に進捗状況を公表している。)

- 平成26年度までに、常磐自動車道全線の通行や市町村内の道路（津波被災区域等を除く）の通行が可能となっているところ。
- 平成27年度は、葛尾村の上水道の復旧が完了し、富岡町の上・下水道や浪江町の上・下水道で完了工区が拡大するなど、12市町村の公共インフラの復旧は、着実に進捗。
- 広域インフラについても、大柿ダム（浪江町）の堤体復旧工事が完了。北部衛生センター（浪江町）の復旧が完了。また、7月にはJR常磐線の原ノ町～小高間が運転再開した。
- 道路、上・下水道など基礎的なインフラの復旧については、帰還困難区域や津波被災区域を除き、平成28年度末までに概ね復旧する見通し。

主な公共インフラ復旧の状況

◎：概ね復旧完了、使用再開 ○：復旧中 ー：該当なし、工程表に記載なし

区分	田村市	南相馬市	川俣町	広野町	楡葉町	富岡町	川内村	浪江町	葛尾村	飯館村	大熊町	双葉町
道路	◎	◎	◎	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○
	◎常磐自動車道(H27.3～全線通行可)			◎一般国道6号線		○県管理道路						
上水道	ー	◎	ー	◎	◎	○	ー	○	◎	◎	○	○
下水道	ー	◎	ー	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	○	○
医療福祉施設	ー	○ 小高福祉センター再開	◎ 山木屋診療所の改修完了	ー	○	○	◎ 複合施設の修繕完了	○	◎ 全地区の復旧が完了	ー	ー	ー
文教施設	◎	○	○	◎	○	○	ー	○	○	○	ー	ー
役場・公共施設	ー	◎	○ 新庁舎の建設に着手	ー	○ 庁舎の復旧完了	○ 庁舎の復旧に着手	○ 室内型温水プールが完成	○	○	ー	○	○
観光施設	◎	ー	ー	ー	○ サイクリングターミナルしおかぜ荘の改修完了	ー	○	ー	○	ー	ー	ー
廃棄物等	○ 双葉地方広域市町村圏組合の施設(8市町村) 北部衛生センター(浪江町)の復旧が、平成27年度に完了。 南部衛生センター(楡葉町)の応急改修工事が、平成27年度に完了。											
鉄道	○ JR常磐線 原ノ町～小高間が、7月に運転再開。平成28年3月に、全線開通の見通し等が公表。											
農業水利	◎ 大柿ダム(浪江町)の堤体の復旧工事が完了し、平成28年1月から試験湛水を開始。 ○ 南相馬市の農業用排水機場1箇所(小浜)の復旧工事が完了。											

(注1) 上表は、市町村等が平成28年3月時点で取りまとめた工程表の概要であるが、その後の進捗を書き加えている場合がある。

(注2) 上表は、帰還困難区域、津波被災区域を含んでいる場合もある。